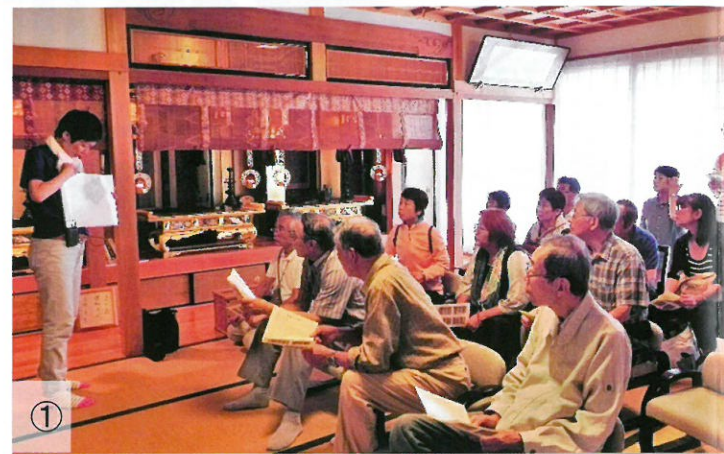


先進地研修に参加して～沖島の旅～ 9月19日(月・祝)

台風16号が近づく中、沖島に向かいました。島を貸切船でぐるりと一周、不思議に波は静かで絶好の研修日和。台風が迫っているとは思えません。船の中での沖島の案内、また島にある西福寺での説明を観光ボランティアの小川さんが一手に引き受けてくださいました。

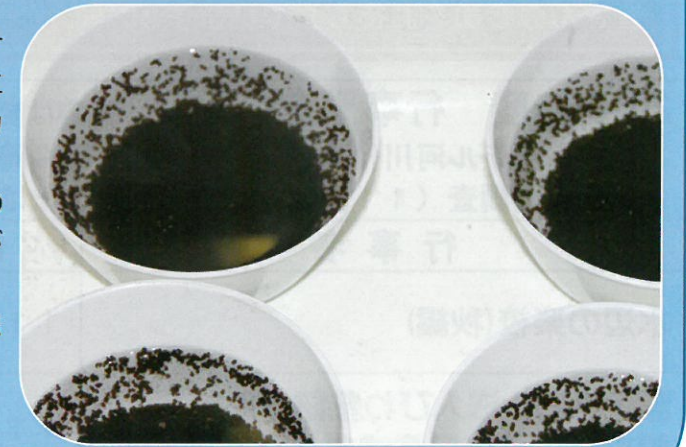
沖島は明治のころ、石材採掘業が盛んだったそうで、瀬田川の南郷洗堰や琵琶湖疏水にこの島から切り出された石が使われているそうです。「昔は浜でシジミがたくさん取れたけれど、今はブラックバスが取れる。自然ともっと向き合って沖島の環境のことを考えていかなければいけない。」と小川さんは話されていました。バタバタと暮らす今日この頃、「もんできて！（帰ってきて）」のこたばを背に心を残して帰途につきました。

写真：①小川さんの説明（西福寺）②「もんでクルーズ」で沖島遊覧 ③弁財天の赤い鳥居 ④湖岸でくつろぐネコ ⑤島内散策、どこか懐かしい家並が続く



ほたるの森の仲間たち

ゲンジボタルの幼虫飼育においては、エサとしてカワニナがたくさん必要です。とくに小さい幼虫には小さいカワニナを与えないといけません。そのために毎年たくさんのカワニナの親貝にたくさんの稚貝を産んでもらっています。写真は集めた稚貝を容器に入れたところです。容器上面の直径は約10cmです。中に入っているゴマ粒みたいなのが稚貝です。この4つの容器だけで、2万個以上の稚貝がいます。幼虫飼育は大変です。



守山ほたるサポーター通信～ホタルの飛び交う川を目指して！～

10月19日(水)ほたるの森資料館が管理するほたるの森の河川のひとつで、現在は散策路が老朽化し、危険なため通行禁止となっている「Aゾーン」の整備を、もびかプロジェクトメンバーで行いました。作業していても本当に気持ちの良いこの河川に、ほたるの乱舞する姿を夢見て汗を流しました。今後この河川を再び散策路に戻せるよう、活動を続けます。みなさん、お楽しみに！（もびかプロジェクトは守山ほたるサポーターの皆さんからのご支援を頂いて活動をしています。皆さまからのご寄付をお待ちしています。）

守山ほたるサポーター

寄付：1口3,000円

賛助会費：年間3,000円



水辺百選講座～守山の水辺百選の源流を訪ねる～ 10月1日(日)

今回は百選の水辺にも豊富な水を提供している野洲川を訪ねました。源流近くの野洲川ダムから青土（おおづち）ダム、石部頭首工を経て吉身の円形分水までのバスツアー。この講座では初めての水質検査も実施しました。野洲川ダムと頭首工では水土里（みどり）ネットの担当者から施設の説明を受けました。暫し遠い昔の小学生の遠足気分。初耳の事もたくさんありました。「野洲川ダムは農業用ダム」「青土は多目的ダム」と役割分担があったとは。石部頭首工のせき止めの仕組みも知る事ができました。ツアーの最後は吉身町の円形分水（百選No.21）こんなところにも水を大切に扱ってきた先人の知恵を感じました。天気予報では覚悟して雨具を用意したツアーでしたが運よく使わずに済んだ一日でした。



野洲川ダム

豊穣の郷ボランティアスタッフさん募集中！

私たちと一緒に活動をしてくださるボランティアさんを募集しています。

ボランティアの内容は

- 目田川河川公園で河川の整備作業
ゴミ拾い、草刈り、護岸の整備など。
快い汗を流した後の手作りジャンボテーブルを囲んでのおしゃべりとお茶は格別です！
- 「豊穣の郷だより」編集作業
当法人の機関紙豊穣の郷だよりのレイアウトなどができる方を募集しています。併せてホームページへの動画投稿などが得意な方もお願いします。豊穣の郷だよりは、年4回発行です。

